

# 大谷學報

第100巻 第2号

2021年3月19日発行

---

破来頓等絵巻考……………	國賀由美子 (1)
——大谷大学博物館本の紹介をかねて——	
生み出される「公」の水……………	井黒 忍 (39)
——伝統中国における水をめぐる認識とその変容——	
研究ノート「江見水蔭「鉦夫の恋」からみる	
一九〇〇年代の文学意識……………	安藤香苗 (61)
彙報……………	(75)
学位論文審査要旨……………	(113)
二〇二〇年度 研究発表会 発表要旨……………	(107)
「紅葉」を読む……………	石本哲子 (89)
——大衆読者とマイノリティ表象——	
「五障」と「変成男子」に関する諸問題……………	ダシユ シヨバラニ (65)
【独文】オーストリーと日本の文化地質学……………	鈴木寿志 (45)
日野町事件……………	脇中 洋 (1)
——アライバイ証人の言い回しの変化に関する心理学的鑑定 意見書——	

---

大 谷 大 学

大 谷 学 会

助動詞キの活用形態について…………… 大秦一浩

二〇一九年度 研究発表会 発表要旨  
彙 報

学位論文審査要旨

日中禁忌文化の比較…………… 董 青

——丙午と羊年禁忌の俗信を中心に——

創られた犯罪不安…………… 渡邊拓也

——1970-80年代『警察白書』を中心に——

「得難思議往生」の人法然…………… 籠 弘信

——元久二年の「真影」の銘を手掛かりとして——

ハイデッガーにおけるユダヤ教の地位

——「反ユダヤ主義」とフィロンについて——

…………… 田鍋良臣

二〇一九年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧

彙 報

在朝鮮日本人画家とツーリズム…………… 喜多恵美子

——加藤松林人を中心に——

知的障害のある子どもの個に応じた指導・支援  
に生かすための「就学支援システム」構築の  
現状と課題…………… 安田誠人

研究ノート

権利としての地域福祉の確立をめざして

——社会福祉構造のなかでの地域福祉領域の占める

位置と意義にかんする考察——

…………… 山下憲昭

芝田宇佐男

### 投稿に際しての注意

『大谷學報』『大谷大學研究年報』各号（集）の執筆者は毎年、各号（集）発行の前年度の六月頃に開催される大谷学会委員会にて決定します。

投稿をご検討の方は、まず、できるだけ早い時期に大谷学会事務局までご連絡ください。

なお諸般の事情により、ご希望にお応えできないこともありますので、予めご了承ください。

## 学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
  - ① 採用
  - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
  - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。

# 大谷学会規程

## (設置)

第1条 大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に大谷学会(以下「本会」という。)を置く。

## (目的)

第2条 本会は、本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的とする。

## (事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要と認める事業

## (構成)

第4条 本会は、次の者をもつて構成する。

- (1) 教育職員(専任職員及び契約職員)
- (2) 本学の学生
- (3) 本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者

## (役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

## (会長)

(1) 会長 会長は、大谷大学長が当たり、本会を代表する。

## (副会長)

(2) 副会長は、学監・副学長が当たり、会務を統理する。

(3) 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。

## (委員)

第7条 委員は10名とし、教授会において互選する。

2 委員は、企画、編集、出版等の会務に当たる。

3 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

## (庶務)

第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務を置くことができる。

2 庶務は、本会委員のうちから、会長が委嘱する。

## (監事)

第8条 監事は2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。

2 監事は、本会の会計を監査する。

## (研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

## (会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

## (経費)

第11条 本会の経費は、会費をもつてこれに当てる。

2 本会の経費については、助成金を受けることができる。

## (所管)

第12条 本会に関する事務の所管は、教育研究支援部教育研究支援課とする。

## (改廃)

第13条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、会長が決定する。

## 付則

1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。

2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

付則 この規程は、一九九三年四月一日から施行する。

付則 この規程は、一九九五年六月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇〇二年六月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇〇六年十一月八日に一部改正し、同日から施行する。ただし、第3条第1号については、第86巻第1号から適用する。

付則 この規程は、二〇一二年二月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇一四年四月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇一四年四月一日から施行する。

## (大谷学会委員)

- 川北典子 喜多恵美子
- スミサースライアン W. 武田和哉
- 新田智通 野村明宏
- 平尾良治 藤原正寿
- 山本貴子 渡部洋

大谷学報第一〇〇巻第二号  
令和三(二〇二二)年三月十九日発行

## 編集兼

高井康弘

大谷学会

〒六三八三 京都市北区小山上総町  
大谷大学内

振替 〇一四〇七一一八三三九番

印刷者 田中雅博

---

THE  
OTANI GAKUHO  
(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

**Articles:**

- A Written Statement of Psychological Expert Opinion about a Changing in the  
Witness's Way of Speaking in the Hino-chō Case  
..... *WAKINAKA Hiroshi* ( 1 )  
Die Kulturgeologie in Österreich und Japan ..... *SUZUKI Hisashi* ( 45 )  
Some Problems Related to “Five Obstacles of Women” and “Transformation of  
Women into Men” ..... *DASH Shobha Rani* ( 65 )  
Reading “Red Leaves”: The Mass Readers and the Representation of Minorities  
..... *ISHIMOTO Tetsuko* ( 89 )

---

Résumés of Papers Presented at the Otani Society Annual Meeting 2020 (107)

---

Examination Report of Theses Presented for the Degree of Doctor of  
Literature ..... (113)

---

Reports ..... ( 75 )

**Research Note:**

- The Literary Consciousness of the 1900s in Emi Suiin's *Kōfu no Koi*  
..... *ANDŌ Kanae* ( 61 )

**Articles:**

- Creating “Public” Water: The Recognition of Water and Its Changes in Traditional  
China ..... *IGURO Shinobu* ( 39 )  
A Study of *Haraitontō Emaki* with an Introduction of The Otani University  
Museum Version ..... *KUNIGA Yumiko* ( 1 )